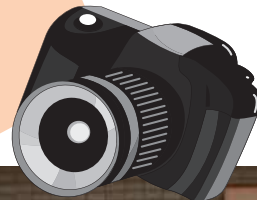


マイタウン・フォト

— まちの話題を写真で紹介 —



いずみ保育園運動会（9月9日）

住宅用火災警報器は 10年たったら、とりカエル。

住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなったり、故障しやすくなります。安心・安全のために、定期的に作動をテストし、10年を目安に交換しましょう。

正常に作動するか、定期的にテストしよう！

ボタンを押す、または引きひもを引いて作動確認をしてください。

正常な場合は？

正常をお知らせするメッセージ、または火災警報音が鳴ります。

ビビ、
ビービー

ピッピー正常です
など



注）警報音はメーカーや製品により異なります。

音が鳴らない場合は？

電池がきちんとセットされているか、ご確認ください。

...

しーん



●それでも鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。取扱説明書をご覧ください。



とりカエルのサイトで
音を確認できます！

メーカーや製品ごとの
住宅用火災警報器のブザー音を、
パソコンやスマホで確認できます。



とりカエル ブザー音 検索

で検索してください。

※サイトでは、一部の製品を紹介しています。

【お問い合わせ】 長万部町消防本部 TEL.2-2049